

埼玉県U15カテゴリー
チーム代表者 様

一般社団法人 埼玉県バスケットボール協会
U15カテゴリー部会 部会長 立花 正司

令和2年度U15カテゴリー事業運営に関して

日頃より、埼玉県バスケットボール協会ならびにU15カテゴリー部会の活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでに経験したことない生活の中大変なご苦勞をされているかと思えます。緊急事態宣言は解除されましたが、収束には至らず、未だ先が見えない状況です。このようななか、社会は日常の生活を取り戻すべく動き出しました。バスケットボールの世界では、公益財団法人日本バスケットボール協会（以下「JBA」という）が、事業再開を目指し「JBAバスケットボール活動再開ガイドライン」を6月8日付で発表しました。これを受けて、本部会では、関係諸機関や各種団体と協議の上、「9月以降の事業について実施」の判断となりましたことをご報告いたします。つきましては、6月24日付でU15カテゴリー部会発「2020年度埼玉県U15リーグ戦オータムラウンド実施要項」、「埼玉県U15カテゴリーに於けるガイドラインの運用について」、「施設来場者健康状態記録表」を本協会ホームページに掲載いたしましたのでご確認をお願いいたします。

我々U15カテゴリーの関係者にとって今年度最大の課題は、中学校3年生世代の子どもたちの競技環境の創出であります。競技を希望する子どもたちのために我々すべての大人が力を合わせて、出来る最大限の環境を作り出すことが大事であると考えます。子どもたちが、来る日も来る日も仲間と汗を流し、歯を食いしばって努力して積み重ねてきた3年間の想いを、全力でぶつけ合い、心からバスケットボール競技を楽しめるような環境作りに、我々も全力を尽くして取り組みます。しかしながら、安全第一に実施するためには、様々な面において課題が山積しています。リーグ戦となれば、会場数や試合数も多くなり、運営者である各チーム関係者の皆様に多大なご負担やご苦勞をおかけすることになるのが現実です。「今まで通り」が全く通用しない事が大前提であるため、もしかすると、心の中にも「諦め」の文字がよぎることがあるかもしれません。それでも、道が完全に絶たれない以上は、前に向かって進んでいくことが大切です。新しい生活様式を取り入れた中で、徹底して安全を確保し、子どもたちのための競技環境を整備することにご協力を賜りますようお願い申し上げます。諦めたら、そこで試合終了です。様々な場面において、今まで以上に我々大人一人一人が「子どもたちのために何ができるか？」が問われています。今こそ、埼玉県内で活動する中学校部活動チーム・町クラブチーム・Bユース・バスケットスクールなど、U15世代チーム関係者である全ての皆様のお力添えが必要だと感じております。この最大のピンチを、最大のチャンスとして捉え、これまで以上に埼玉のバスケットボールファミリーが一つになれることを切に願います。「埼玉県の子どもたちのために」何卒、お力添えをいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

※ 別紙「資料1」にて、「2020年度コロナ禍における日本バスケットボール協会登録および埼玉県バスケットボール協会登録についてのご理解とご協力をお願い」について詳しくご案内申し上げます。

※ 別紙「資料2 競技会事業について」で、過去に問い合わせの多かった事項について補足説明をいたします。

※ 正式なリーグ戦要項、2020事業説明資料（年間スケジュール、U15カテゴリー部会組織図、リーグ戦事業の目的・意義・概要）は、別途ファイルで展開しております。ご参照ください。

2020年度登録についてのご理解とご協力をお願い

昨年度、県内保護者からの問い合わせの中に「登録」に関するものが多くありました。「本当は参加したかったのに、、、」、「うちの部活動では、『チーム登録は必要ないと部活動保護者会で説明』があり、その時点で自動的に試合に出る権利が無くなりました。」などという相談が多く寄せられました。本部会は、チーム責任者の皆様方への伝え方が不十分であったために、リーグ戦事業やDC事業への理解を得られず適切な環境を提供出来なかったと痛感しております。このような状況を受け、登録への正しい理解を周知するために、今回登録に関する文書を発行するに至りました。

登録の本質は、選手自身や各チームが、競技会事業や育成事業への参加する権利を有することです。またバスケットボールに関わる様々なエンターテイメントを楽しむ権利を得る事にあります。同時に、それらの恩恵を適切に享受するために日本のすべてのバスケットボールの環境を構築・整備するためのものです。皆様が安全に、正しく、そして、楽しくバスケットボールをプレイする環境は、皆様からの登録料により成り立っているとと言えます。登録は「自分のため」であるとともに、「日本のバスケットボールに関わるすべての人のため」につながるのです。日本全体のバスケットボールの繁栄が埼玉の繁栄につながり、そしてそれが個々の選手の成長につながります。

2019年度の埼玉県のU15の登録状況をみると、チーム加盟数が554チーム、競技者登録数9,272人でした。2018年度と比較するとチーム加盟数758でしたので204の減、競技者登録数16,265でしたので6,993の減でした。部活動チームに限ってしてみると、チーム加盟数で263の減、競技者登録数8,195名の減でした。クラブチームは59の増、競技者登録数で1,202の増がありましたので、部活動チームでの加盟数・競技者登録数が大幅に減少したことになります。本部会は、2018年度の部活動登録実績／加盟数743・競技者登録数16,069を目指したいと思います。部活動の活性化を図ると共に、多くの子どもたちにバスケットボール競技として活躍できる環境を提供できるようチーム加盟・競技者登録にご理解を賜りますようお願い申し上げます。本部会としては、登録に関する理解をチーム責任者のみに啓発するのではなく、実際に登録をする選手およびその保護者にも周知していきたいと考えております。チーム関係者の皆様におかれましては、本文を広く選手および保護者にもご案内いただき、正しい理解のもと、選手自身が登録について希望通り行えるよう、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

2019年度登録状況（JBA発表）の指導者登録については、前年度に比べて全国で最も多くコーチの登録者が増え、「選手一人に対するコーチの割合」で全国トップ10にランクインしました。つまり、2019年度の1年間に、「子どもたちのために大人が頑張ろう」と新たに立ち上がってくれた方々がとても多かったということです。本部会としては、この嬉しい事実、子供達の未来がより良くなる可能性を感じております。

未来ある子どもたちのために、日本バスケットボール界が今以上に繁栄するために、改めて、登録を進めていただきますようお願い申し上げます。

一般社団法人 埼玉県バスケットボール協会
U15カテゴリー部会 部会長 立花 正司

競技会事業について

昨年度、実施要項配布後、「協会登録、チームエントリー、選手エントリーの混同」「選手名、チーム写真のプログラム掲載について」など質問の多かった事項について、以下補足いたします。

※ 参考：2020年度 埼玉県U15リーグ戦オータムラウンド 実施要項
→ 埼玉県バスケットボール協会ホームページに掲載中 (<http://saitama.japanbasketball.jp>)

1 日本バスケットボール協会及び埼玉県バスケットボール協会への「登録」について

- (1) 登録とは、日本の「バスケットボールファミリー」の一員になること
- (2) 登録とは、日本バスケットボール協会や都道府県バスケットボール協会等が開催する公式競技会に「出場する権利」を得ること
- (3) JBAは、全国から集まった登録料を、日本のバスケットボールファミリー全ての皆さまに、様々な形でバスケットボールを楽しんでいただくために、そして、日本バスケットボールが強くなるために、多様な大会や環境作りに役立っていること。
- (4) チーム登録料 (JBA : 5,000円、SBA : 2,500円、合計 7,500円)
- (5) 競技者登録料 (JBA : 1,000円、SBA : 500円、合計 1,500円)
- (6) 競技者登録は、チームに所属する事で登録ができる。チームに所属せずに、競技者登録のみ行う事はできない。(DC活動を希望する選手は、チームへの所属が必須であるということ)
- (7) チーム登録は、競技者登録の数には影響を受けない(メンバーが1人でも2人でも、県内でバスケットボール活動をするチームは登録が可能。)
- (8) 県内により多くの登録チームが存在する事で、競技者は、自分にあった登録先を選択する事ができる。(逆に、埼玉県内でチーム登録をするチームが少ないということは、選手が様々な事情で現所属チームからの移籍を希望する場合、移籍したくても移籍先が少なく、限られた場でしか活動できなくなってしまうということ。)
- (9) 登録は(2)の通り、協会が開催する公式競技会に「出場する権利」を得ることであり、登録の段階では、競技会への参加有無は決定しない。

2 競技会への参加資格

- (1) 競技会とは、リーグ戦事業およびトーナメント事業を指す。
- (2) 競技会は、JBA登録を完了した11歳～15歳の選手が参加可能。(11・12歳は人数制限あり)
- (3) 競技会は、JBA登録を完了した埼玉県内の「部活動」、「町クラブ」、「Bユース」のチームが参加可能。

3 競技会へのエントリーについて

(1) チームエントリー

ア チームエントリー期:2020年7月1日～7月22日(チーム登録申請、登録料支払いを完了すること)

(感染予防対策等により7月末日までどうしてもエントリーができない等の特別な事情を抱える場合には、このエントリー期間中に事務局までご相談ください。どうか参加できるよう、事務局が個別に対策を検討させていただきます。この際、全て必ずエントリーできるという約束はできませんが、必ず検討しますので、諦めずに必ずご連絡をください。)

イ チームエントリーは、選手エントリーとは別物であり、参加選手がすべて確定している必要はありません。

(チームエントリーは最低5人の競技者がいれば可能)

ウ チームがリーグ戦事業に参加するかどうかの確認。

エ リーグ戦エントリー時には、所属希望リーグを求められる。

・リーグは6段階で構成されており、対戦時の遠征移動対象は以下の通り。

1～3部は、県リーグ (県内全域)

4、5部は、地域リーグ (支部全域)・・・埼玉県4支部 (東、西、南、北)

6部は、地域リーグ (ブロック全域)・・・埼玉県11ブロック (東ABC、西ABC、南ABC、北AB)

・チームエントリー時の希望区分は、4区分。「1、2部」「3部」「4、5部」「6部」

オ 具体的な事例

- ・【3年生の保護者・選手に7/22までにどうしても意思確認が取れない場合】本年度はコロナ禍対応により、各市町村によって各種活動再開は様々であり、6月末日まで活動が再開されていないチームもあり、保護者会が開けず全選手（家庭）の明確な出場希望が確認できない学校部活動やクラブチームも多い。特に、3年生の出場について、7/22までにどうしても5名以上の保護者とコンタクトが取れなかったり、選手が迷ったりして意思確認が取れない場合には、2年生や1年生のチームとして参加する可能性が考えられる。（昨年度も、このU15オータムラウンドは、11歳～15歳に参加資格が認められているため、全員が3年生、というチームもあれば、全員が下級生、というチームもあった。それぞれ力量に応じてチームで所属リーグを希望し、エントリーしていた）

→ この場合には、万が一「3年生の出場希望なし」の可能性を考慮し、新チーム（下級生）での参加意思を選手と保護者に確認する。新チームで試合環境を求める場合にはチームエントリーを行う。7/23以降に3年生の数人でも「試合に出たい」という選手がいた場合、チームとしてエントリーしておけば、「競技を希望する3年生のための活動は保証されている」ことになる。（選手も保護者も、迷う方が多いことが予測されるため、最後までその可能性を失わせないためにも、競技会への参加を決定される組織の責任者の皆様方には、「新チームの活動の機会創出」とともに、「3年生の活動の場の保証」について、十分ご検討いただければと思います。）

(2) 選手エントリー

ア 選手エントリー期日 2020年8月中旬～下旬に行われるグループ代表者会議

（事務局により編成されたグループリーグごとに行う代表者会議のこと）

イ 選手エントリーは、この代表者会議にて提出したメンバー表を持って最終エントリーとする。

（これ以降の選手の入替えは認められない）

ウ プログラムデータ提出期限は、7/22

- ・プログラムに掲載される選手名簿は、このプログラムデータとなるため、選手の最終エントリーとは異なることを理解する必要がある。（プログラムに掲載されたメンバーと、最終エントリーのメンバーは異なってもおかしくない。つまり、例え実際の最終エントリーメンバーは新チームの下級生チームだったとしても、7/22時点で3年生の出場可能性がゼロではない場合や、新チームでオータムラウンドを戦うことを決めていても2020のチームメンバーの記念としてプログラム掲載メンバーは3年生を掲載するとチームで確認している場合には、3年生の名簿を7/22チームエントリーと同時にプログラムデータ提出をすることになる）

エ プログラムに掲載するチーム紹介用の写真提出は任意。チームのロゴのみ、チームフィロソフィなどの言葉、集合写真、選手の表情、など、チーム紹介として各チームの基準で工夫して良いものとする。

オ 1チームから複数ユニットが出る場合

- ・どのユニットに誰がエントリーするかは、7/22時点ではなく、リーグ直前の選手最終エントリーまで熟考する事ができる。選手も、ギリギリまでチームメイトと切磋琢磨できる。

4 2020年度 第1回全国U15バスケットボール選手権大会について

- (1) 名称は「U15選手権大会に加えて、Jr ウィンターカップを追記したものに変更」とし、『Jr. ウィンターカップ 2020-2021 2020年度 第1回全国U15バスケットボール選手権大会』を正式名称とする
- (2) 1/4～1/7の4日間 武蔵野の森スポーツプラザ
- (3) 今年度は、男女各47チーム（都道府県代表）
- (4) 1チームのエントリーはスタッフ4名以内（コーチ、Aコーチ、チーム責任者、マネージャー、トレーナー、ドクター等）、選手15名の計19名とする
- (5) 申し込み期限、組み合わせ抽選会 11/30
- (6) 現在、東京都開催の全国大会実施は予定通り進めているが厳しいのが現状。今後も情勢に従い追って判断する。

一般社団法人 埼玉県バスケットボール協会
U15カテゴリー部会 部会長 立花 正司